



千葉県野田市でコウノトリのヒナ誕生！

「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」の先行モデル自治体であり、コウノトリ飼育・繁殖・放鳥など関東におけるコウノトリの野生復帰を先導してきた千葉県野田市（利根運河、江戸川、利根川地域）において、今春、放鳥10年目にしてはじめてコウノトリのペアが江川地区で営巣・産卵し、4月末にヒナのふ化が確認されました。

関東エコロジカル・ネットワークでは、コウノトリ（特別天然記念物）をシンボル・指標種として、治水事業等と一体となった環境整備や流域づくりに取り組んでいます。関東地域では、渡良瀬遊水地をはじめ利根川流域でコウノトリの生息や繁殖の広がりが顕著となっており、野田市での繁殖確認もこうした傾向を示す事例として注目されます。



親鳥とヒナ(5月8日撮影)
(写真提供:千葉県野田市)



渡良瀬遊水地(栃木県小山市)では
5年連続ヒナのふ化を確認
(写真提供:NPO 法人わたらせ未来基金
青木章彦氏)

千葉県野田市におけるコウノトリ繁殖・放鳥の概要

<取組経緯>

- 2012年 多摩動物園から譲渡されたペアの飼育開始
2013年 飼育ペアのケージ内繁殖実現
2015年 繁殖し巣立ちした幼鳥の野外放鳥(関東初)
2023年 2015年から9年連続、幼鳥合計17羽を放鳥
▶ **2024年 野田市内で初の野外繁殖・ヒナ2羽のふ化確認**



野田市のコウノトリ
放鳥情報はコチラ

<繁殖ペアの概要>

性別	愛称	生まれた年(年令)	放鳥・巣立ちの場所
オス	ヤマト	2017(H29)年(7才)	「野田市こうのとりの里」より放鳥
メス	ひなた	2022(R4)年(2才)	渡良瀬遊水地人工巣塔から巣立ち



繁殖したペア
(左:ひなた(メス)・右:ヤマト)
(写真提供:野田市)

栃木県小山市におけるコウノトリ繁殖の概要

<取組経緯>

- 2018年 渡良瀬遊水地第2調節池に人工巣塔やデコイを設置
ひかる(オス)が長期滞在するようになる
2020年 関東地域で戦後初の繁殖実現
メス親(歌)が事故で死亡
2021年 新たなメス(レイ)とペア形成・繁殖
▶ **2024年 3羽のヒナのふ化を確認(5年連続で繁殖成功)**



小山市のコウノトリ
繁殖情報はコチラ

<繁殖ペアの概要>

性別	愛称	生まれた年(年令)	放鳥・巣立ちの場所
オス	ひかる	2016(H28)年(8才)	「野田市こうのとりの里」より放鳥
メス	レイ	2019(R1)年(5才)	「野田市こうのとりの里」より放鳥
メス	歌	2020(R2)年10月死亡	徳島県鳴門市内巣塔を2018年に巣立

ルール・マナーを守った観察や見守りをお願いします！

- コウノトリが安心して子育てできるように、観察や写真撮影は、**150m以上離れた場所**、または各繁殖地で**定められた観察場所**で行ってください。
- 繁殖している巣の近くでドローン、ラジコン等無人航空機の飛行はしないでください。
- 私有地(田畑含む)や路肩など、**通行の妨げになるような場所へは駐停車しないでください**。
- ゴミを捨てたり大きな音をたてたり騒ぐなど、**近隣の迷惑になる行為はしないでください**。



シンボルマーク

地域の多様な主体が協働・連携した 「関東エコ・ネット」の取組を推進中です！

関東地方整備局では、2013年より「[関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会](#)」を設置し、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の推進および地域振興・経済活性化方策に取り組み、広域連携モデルとして『[エコロジカル・ネットワークの形成によるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり](#)』の実現を目指した各種活動を行っています。

今回の野田市におけるコウノトリのヒナの誕生や、渡良瀬遊水地での繁殖継続等の関東各地へと広がるコウノトリ野生復帰の進展は、多様な主体の協働と連携に基づく「関東エコ・ネット協議会」による取組みの大きな成果と言えます。

協議会では2021年度に「[関東エコ・ネット基本計画](#)」の見直しを行い、2030年度における中期目標の実現に向けた取組みを推進しています。

詳しくは、関東エコ・ネットのホームページをご参照ください。

【関東地整 HP】

関東エコロジカル・ネットワーク

～コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して～

